

エキスポランド跡地に

アメリカの映画会社「パラマウント」が…

吹田市長

テーマパーク誘致に同調 開発も福祉も民間だのみ？

吹田市がまたもや民間呼び込み型の街づくりを身を乗り出そうとしていることが明らかになりました。

エキスポランド跡地にアメリカの映画会社「パラマウント」・ピクチャーズによるテーマパークを建設するという構想があることが明らかになったのが、今年の7月。そして、このたび橋下大阪府知事と吹田市長が会談を行い、テーマパーク誘致へ向けて「共闘」することを確認したと、8月19日付の産経新聞で紹介されています。

大阪活性化の起爆剤？

記事の中では、この構想について「経済効果の試算が1千億円単



エキスポランド跡地はどうなるのだろう…



デモ行進する戦争被害者

取り除き、赤のペンキでマーキングする。全て手作業。めっちゃくちゃ危険で勇気のいる作業だ。この地雷撤去作業はユネスコが所管し、ATCというアフガン人NGOが実際の作業を行う。予算の約30%以上を日本政府が拠出している。インド洋で米軍に給油するのではなく、もっとこのような人道支援に予算を使ってほしいものだ。

戦争被害者のデモ 「障害者にも仕事を！」

カブール滞在最終日、私はISAF（国際治安支援部隊）本部前にいた。「アラアアクバル」（神は偉大なり）。大音響とともにISAF本部の方向から、デモ隊が現れた。デモ隊は警官ともみ合いながらこちらへ向かってくる。日本のデモと全然違うのは、その迫力。片足の男たち、車椅子の男たちが、こぶしを上げながら、鬼のような形相で「障害者にも仕事を与えろ！」と叫ぶのだ。私たち日本人が忘れかけている「抗議行動の原点」がここにあった。

デモ終了後にインタビュー。 「20年前に地雷を踏んだ。俺は47歳、家族を養わねばならない。地雷？おそろく旧ソ連軍が仕掛けていったんだらう。俺の村は地雷原になったよ。政府は月に700アフガニ

アフガン取材報告

1（約1500円）の手当てをくれるだけだ。これでどうやって生活できる？日本人に言いたいこと？ そうだね、軍隊に援助せず、俺たちのような住民を助けてほしいよ。

インド洋の給油は アフガンにばれている

日本がインド洋で米軍に給油していることは、ほとんど全てのアフガン人に「ばれてしまつて」いる。米軍に給油する金があるなら、俺たちに回してくれ！という切実な声。今はまだ米軍への怒りを表明するのみだが、そのうちに「米軍に協力する日本も同じだ！」という主張になりかねない。そうなる日本はNGOや企業も安全ではなくなる。米軍への協力を直ちにやめて、全ての支援を人道・民生支援に切り替えるべきなのだ。

フリージャーナリスト 西谷文和

勝手に市長は地元賛成と

この構想をすすめている燦キャピタルマネージメントという投資会社の社長はネット上のある記事で自ら、大阪府知事の諮問会議のメンバーであることも明かしたうえで「パラマウントと大阪府の橋渡し役」をしたと語っており、府知事がこの構想の立役者であることが浮かびあがります。

問題なのは「地元は大賛成」と市長が勝手に応じ、吹田市がこの構想に巻き込まれようとしていることです。

USJに類似したものはもういらん

広大な面積のエキスポランド跡地問題は、地元自治体にとって重

集まった募金を 10月のイラク・アフガンへ 直接持参します

引き続きご支援を

募金の宛先 三井住友銀行 吹田支店 普通 3712329

イラクの子どもを救う会 西谷文和

郵便振込 00970-222501

イラクの子どもを救う会

イラク&アフガンの子どもたちを支援 平和チャリティーコンサート

日時 09年10月4日(日) 14:00~(13:30開場)

会場 浪速人権文化センター・大ホール 浪大坂塚駅前(岸線橋)下車すぐ(大阪府浪速区浪速1-9-20)

協力支援 ハート70ハート 1000円

内容 「歌う巨人」ナニワのバギヤン、趙博さん友情出演

【問合せ】TEL 06-4864-1828 FAX 06-6875-8980 E-mail heitwa-tsubasa07@fol.hi-ho.ne.jp

要なことは言つまでもありません。しかし、市長は、会談の中で「周辺地域の交通整備を求め」、地下鉄今里筋線の北伸計画を現実のものにして、東部拠点開発と一緒に浮上させようとしています。企業呼び込み型の開発が次々と破綻しているこの時勢に、東部拠点に加えて、テーマパーク構想にまで大阪府や関西財界とともに乗り出すというのは、あまりにもリスクが大きすぎるのではないのでしょうか。また、今里筋線北伸計画も、大阪府が乗り気ではないとされています。狭い大阪の中に、USJに類似したテーマパークはもういらない、という声もすでにあがり始めています。東部拠点にいきなり「ゼロ系新幹線」を運び込んだり、テーマパーク構想に引きずられたり、最近、吹田市はフライング気味が心配されます。東部拠点の開発についてもたしか、「経済活性化の起爆剤」とか言われていたような…。「起爆剤」がそんなに簡単にあちこちにあるわけはありません。エキスポランド跡地利用については、市民の声をしっかりと聞いて、地元自治体として、冷

静な判断をすることこそが求められています。

5大開発事業、建設費総額650億円も

吹田市では現在、東部拠点開発をはじめとする建設事業費の総額が650億円もする5大開発事業がすすめられている一方で、400人近い職員の削減計画や行政の事業をすべて洗い出し、民間委託をすすめる「事業仕分け評価」をすすめています。これまでに「子育てするなら吹田」と高い評価を受けてきた保育事業の一部や体育館の事業の委託化などがもろこまられています。山田駅前建設中の青少年拠点施設の運営主体についても、地域住民からは「直営」を求められているのに「まだ未定」という有様です。

総選挙では、行き過ぎた「構造改革」路線からの転換が叫ばれ、官から民へへのかけ声で一気にすすめた郵政民営化の反省まで相上りのせられました。吹田市の開発も福祉も教育も民間に任せたら大丈夫！という姿勢は少々、無責任ではないでしょうか。